

地域漢文学

国際若手研究者フォーラム

「地域漢文学」は、今回、新しく創った言葉です。それぞれの地域の漢文資料の持つ文化的固有性に重きを置きつつ、研究の国際連携を図ることを目指しています。今回のフォーラムでは、韓国漢文学と、日本漢文学という、普段は異なる言語や評価軸によって、漢文を研究している者同士が、自身の研究について報告し、議論します。

2019年1月15日(火)

15:00～18:30

慶應義塾大学(三田)

研究室棟 AB会議室

講演

佐藤道生 SATŌ Michio (慶應義塾大学文学部教授)

「李誠国と二人の大徳寺僧」

金南伊 KIM Nam-yi (釜山大学校漢文学科教授)

「申叔舟の『海東諸国記』

—朝鮮前期漢文学研究の東アジア的地平と対外認識—

報告

李珉景 LEE Min-kyoung (釜山大学校博士課程)

「金正国の『思齋摭言』と

己卯士禍に対する叙述の視角」

齋藤慎一郎 SAITŌ Shinichirō

(慶應義塾大学後期博士課程)

「『春秋経伝集解』の本文に見る

日本伝存漢籍古鈔本の意義」

崔今子 CHOI Geum-Ja (釜山大学校博士課程)

「韓国の詩話における退溪李滉の詩学」

李篠硯 Li Xiaoyan (慶應義塾大学後期博士課程)

「経句題詩の詠法について

—第一期勸学会の釈教詩を中心に—

主催： 慶應義塾大学古典教育研究会 通訳：鄭育子 尹慶一

問合せ：合山林太郎(goyama@flet.keio.ac.jp) 李曉源(chucky4@naver.com)

使用言語：韓国語・日本語

(同時通訳あり)